

令和3年度 調布市立第四中学校 学校評価報告書（学校長 生野 まゆみ）

学校の教育目標		
心ゆたかに 体たくましく 賢い生徒 の育成		
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像		
・生命をいつくしみ, 人の尊厳を重んじる心を育てる学校	・「生きる力」を育て, 個を伸ばす学校	・安全で安心な学校

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>

	1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
自己評価	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組
	①道徳教育の充実	①見方・考え方を働かせる過程の重視	①食育・安全に関する指導
	②体験活動	②タブレット端末の効果的な活用	②教育相談の充実
	(2) 成果(数値目標に対して)	(2) 成果(数値目標に対して)	(2) 成果(数値目標に対して)
	①ふれあい月間(3回), いのちと心の教育月間(1回), 道徳授業地区公開講座(1回)では, 全校体制で取り組みを工夫する。達成率100%	①調布市教育推進校として「主体的な学習を促す学習活動の工夫」を研究主題とした校内研修を年間8回, 研究授業を年間5回行う。達成率100%	①給食委員会・放送委員会を中心に, 生徒の主体的な取組を推進する(毎週)。達成率100%
	②移動教室(1学年3日間), 職場体験(2学年5日間), 修学旅行(3学年3日間)。達成率67%	②全教員が, タブレット端末を活用した教育活動を実施(各学期1回以上) 達成率100%	②校内委員会で, 多様な教育相談の対応をする。達成率100%
学校関係者評価	道徳の時間は昨年同様きちんと確保できています。授業の工夫や深化, 評価の在り方等でさらなる向上を目指してください。道徳的実践力を高める重要な場面の1つが体験活動です。コロナ禍でもいろいろ工夫して実施され, 素晴らしいと感じています。	タブレットは優秀な学習道具です。教員が使いこなすことは, 授業改善の第一歩であり授業を受ける生徒たちの興味関心を高め, 主体的な学習を促す有効な手段と考えられます。教員集団が気軽に教えあい, 高めあえる環境づくりが大切と考えています。	学校保健委員会の報告書がよくできており, 学校としての意識の高さが感じられました。また, 不登校生(13日以上欠席した生徒)数が半減しています。多様な教育相談の対応, 先生方の意識の高揚が原因と考えられます。

学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>

	4 保護者・地域との連携	5 社会の一員として活躍する生徒
自己評価	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組
	①HPの活用	①キャリア教育
	②保護者・地域との協働活動	
	(2) 成果(数値目標に対して)	(2) 成果(数値目標に対して)
	①HPは毎月3回以上更新 達成率100%	①キャリアパスポートを作成する。(年間5回以上記入)。達成率100%
②2学期に, 地域清掃を保護者・地域と協働で全学年実施。達成率100%		
学校関係者評価	学校が地域の子供たちを育てるためには, 保護者・地域との信頼関係を基礎とした意見や考え方の相互交換が何よりも必要です。学区の生徒・保護者が4中を選んで進学してくるような学校であるように頑張ってください。	SDGsへの様々な取り組みはこれからの社会の中で生きて行く子供たちにとって, 社会の一員としての自覚を高める効果的な取り組みだと思います。

人材育成・組織運営

自己評価	【人材育成】複雑化・多様化する学校を取り巻く課題に対し, 多面的・多角的なものの見方・考え方ができるよう運営委員会, 職員会議, 職員朝会等で定期的・日常的に指導育成を図った。個々の教員のキャリアに応じた育成を意図的に行っている。 【組織運営】コロナ禍ではあってもオンライン会議等工夫して学校が地域と共に連携・協働しながら, 一つのチームとして機能するように, 努めた。また, 学校に関わる全ての職員がチームの一員であるという意識を共有するために, 地域の防災会, 健全教育推進会, 地区協議会等に教職員が可能な範囲で参加した。
学校関係者評価	コロナ禍だからこそ人材の発掘や育成, 組織的な対応や組織力の高揚を目指す場面が多く出てくると思います。ぜひこのチャンスを生かし, 人を育て, 学校力を高めてください。

中期的な経営目標の達成状況

5つの中期的な経営目標に関する評価については, 生徒・保護者・教員を対象に質問項目を合わせたアンケートを実施した。 ①「豊かな心(徳)」について 肯定的な回答が84%(前年度比+1ポイント), ②「確かな学力(知)」について 肯定的な回答が82%(前年度の+2ポイント) ③「健やかな体(体)」について 肯定的な回答が88%(前年度の+2ポイント) ④「保護者・地域との連携」について 肯定的な回答が77%(前年度の-8ポイント) ⑤「社会の一員として活躍する生徒」について 肯定的な回答が85%(前年度の+3ポイント)

次年度の重点課題

課題	豊かな心(徳) 体験活動 確かな学力(知) 主体的な学習を促す学習活動の工夫 健やかな体(体) 安全教育の充実
----	---